

**【授業の到達目標および概要】**

ヘルスプロモーションとは、人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである。（WHO：バンコク憲章、2005）

本特論では、「病気を治す」「ケアする」という保健医療の視点から「健康をつくる」という保健医療を超えたヘルスプロモーションへの視点を学習することができる。またライフロング・アプローチとセッティングズ・アプローチを駆使し、ヘルスプロモーションの最大の敵である「貧困」の克服と「健康格差」の是正そして究極の目的である「平和」の推進方法について理解することができる。

**【授業計画】**

- ① ヘルスプロモーションの概念とその歴史的展望
- ② WHOと日本の健康づくり活動
- ③ 健康とは何か（4つの概念：生・死・健康・病気）
- ④ ライフロング・アプローチ (1)健康行動とそのメカニズム
- ⑤ (2)生涯健康学習のすすめ
- ⑥ セッティングズ・アプローチ (1)健康な家族づくり
- ⑦ (2)健康な学校づくり
- ⑧ (3)健康な職場づくり
- ⑨ (4)健康な病院づくり
- ⑩ (5)健康なまちづくり
- ⑪ ヘルスプロモーションの研究手法
- ⑫ ヘルスプロモーションの未来像：健康格差・平和へのムーブメント
- ⑬～⑮ まとめ

**【授業外学習】**

まず、授業計画に沿って講義を実施するので、教科書の予習・復習を必ず行うこと。つぎに、参考図書にも目を通して講義内容の確認をしておくこと。そして、図書館やインターネット等で「ヘルスプロモーション」について、主体的に学習をすること。

**【成績評価の方法・基準】**

講義への参加度とレポートにて評価する

**【教科書】**

- 1) 島内憲夫・鈴木美奈子：健康社会学講義ノート、順天堂大学健康社会学研究室、2014.
- 2) 島内憲夫・鈴木美奈子：ヘルスプロモーション～WHO：バンコク憲章～、垣内出版、2012.
- 3) 島内憲夫・鈴木美奈子：ヘルスプロモーション～WHO：オタワ憲章～、垣内出版、2013.

**【参考書】**

- 1) 島内憲夫編訳：ヘルシー・シティーズ～新しい公衆衛生をめざして～、垣内出版、1995.
- 2) ナットビーム・ハリス著（島内憲夫監訳）：ナットとハリスのヘルスプロモーション・ガイドブック、垣内出版、2003.
- 3) 平野かよ子編著『健康と社会・生活』、メディカ出版、PP.155－175、2014.

**【教材】**

教科書以外に、講義用資料及びパワーポイントを使用する

**【備考】**

講義は双方向のディスカッション形式にて行う